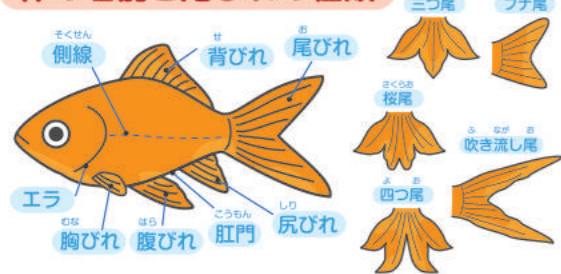


# 1 金魚のことをよく知ろう

金魚はとても飼いやすく、人によくなれるんだ。金魚飼育の歴史は古く、室町時代に中国から伝来し、江戸中期に愛玩動物として広まったんだよ。

- 寿命：10～15年
- 大きさ：約20cm  
(ちいさな水槽だと大きくならないよ)

## 体の名前と尾びれの種類



## なぜ赤くなるの?

藻やエビなどに含まれるカロチノイド色素を食べることで、きれいな赤色になるんだ。この色素を配合した「5つの力色あげ」で赤く美しい金魚に育てよう。



人気の金魚たちを紹介するよ。



ワキン



ピンボンパール



リュウキン



デメキン



ランチュウ



ブリistol シュブンキン

# 2 塩水浴をしよう

## 7日間0.5%の塩水で旅の疲れを癒そう。

### 容器を用意しよう

洗面器(約4ℓ)やバケツ(約10ℓ)を用意しよう。約3cmの金魚の場合、洗面器は2匹まで、バケツは3匹までが目安だよ。



### 0.5%の塩水を作ろう

水1ℓに対して小さじ1杯(約5g)の天然塩を入れ、水道水のカルキぬき&金魚の粘膜を保護するプロテクトXを入れよう。



### 水温あわせ

金魚は水温変化が苦手だから、袋のまま20～30分容器に浮かべて、袋の中と容器の水温が同じになるまで待とう。



### 金魚を入れよう

袋の水を半分すてて、容器の水を同じ量袋に入れ10分待つ。もう一度くり返してから、金魚だけを容器に移そう。金魚が飛び出さないようにネットをしてね。



### エサをあげよう

1日目はエサを与えず、2日目からほんの少しエサを与え、5分後に残っているエサは取り除こう。エサの量は多くても目安量(P8)の半分程度だよ。

### 水を交換しよう

水は少しずつ悪くなるので、2日に1回ほとんどの飼育水をすて、新しい塩水に交換しよう。水温が変化しないように注意してね。※前日別の容器に塩水をつくり、翌日金魚だけを移動する方法もあるよ。



### 水槽に移そう

7日後、金魚を水槽に移そう。もし元気が無い場合は、容器で元気になるまで塩水浴を続けてね。

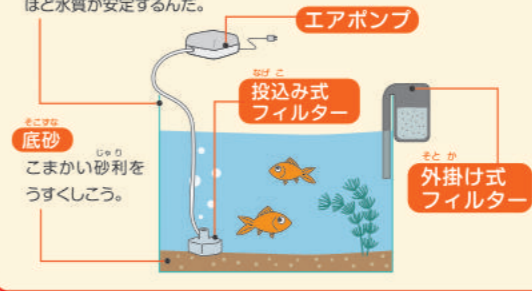
# 3 水槽で飼育しよう

## ろ過装置

水の汚れをキレイにする装置。外掛け式や上部式フィルターがオススメ。

## 水槽

60cm以下のガラス水槽で、なるべく大きいサイズがオススメ。水量が多いほど水質が安定するんだ。



※始めは1・2匹で飼育し、2・3週間後に金魚を追加すると白ニゴリしにくいよ。  
※冬季 暖房したりリビングで飼育する場合、水温変化で体調を崩さないように観賞魚用ヒーターを設置しよう。

## 金魚(3～5cm)の飼育目安匹数

30～40cm水槽 (12～25ℓ)	3～5匹
45cm水槽 (35ℓ)	6～7匹
60cm水槽 (60ℓ)	8～12匹

※成長するので、水槽が広いと感じるくらいで始めよう。

## キレイな水が長生きのコツ

水はフンや尿、食べ残しから「毒性の強い物質」が発生して、少しずつ「危険な水」へ変わっていくんだ。そこで「生物分解・化学吸着・水替え」をして「キレイな水」を維持しよう。



● 毒性のある物質は透明だから、「透明な水」＝「キレイな水」ではないよ。  
● 水質が悪いときにエサを与えると、水が白く濁ったり、金魚が死んでしまうことがあるんだ。エサを与えたときに、食べる勢いが弱いなど感じたら、水が悪いサインだよ。1/2～2/3程度水替えをして、2・3日エサをストップしてみよう。